



豊かな緑といくつもの湖に囲まれたベトナムの首都、ハノイ。タンロン (Thăng Long / 昇龍) からドンドー (Đông Đô / 東都)、ハノイ (Hà Nội / 河内) と名を転じ、2010年に遷都1000年を迎えた歴史ある街だ。

その昔、皇帝への献上品を作るために各地から職人を集めたことが起源といわれる36通り。ホアンキエム (Hoàn Kiếm) 湖に静かに佇む亀の塔や緑色の水面に映える真っ赤なテーフック (Thê Húc) 橋。他にも、ホーチミン廟や文廟などの歴史や文化の足跡を色濃く残し、多くの人々の心を魅了してやまない。

地元の人々が語るこの街の魅力

素顔のハノイ

「生まれ育ったこの街にまつわることは、すべていとおいしい。けれど、ハノイへの愛情を言葉にするのはとても難しいの」と、ハノイっ子はちょっぴり困った顔をする。地元の人々が愛する故郷の魅力を紐解きたい。その素顔を知れば、今よりもっとハノイを好きになる。 撮影/グエン・ミン・ドゥック (Nguyễn Minh Đức)、ベトナムスケッチ編集部



“ハノイ人”としての誇り



様々な出身地の人が集結するベトナムの首都。この街に暮らす人々を総じてハノイ人と呼ぶことはできるだろうか。先祖代々ハノイを故郷として生きる人々は、誇りをもって自分たちをこう呼ぶ。「生粋のハノイ人／Người gốc Hà Nội」一。彼らの心の内を聞いてみよう。



「ジャスミンといえば、その可憐な香り高さ。 ハノイ人といえば、その高潔さ」

「ハノイ人について知りたいって？ このまま遠くに車を走らせても、カフェでお茶をしても時間が足りないよ。」

そう言ってハノイ出身のタクシー運転手は笑う。少し間を置き、ハノイ人なら誰でも知っているというベトナムの諺を教えてくれた。

「ジャスミンといえば、その可憐な香り高さ。ハノイ人といえば、その高潔さ／Chàng thơm cũng thể hoa nhài / Dẫu không thanh lịch cũng người Tràng An。」

人それぞれの解釈があるというが、「香らないジャスミンはないだろう。それと同じで高潔でないハノイ人もいない」というのが彼なりの解釈だそうだ。最後に「ただし、昔のハノイのことだよ」と、どこか寂しそうにつぶやいた。

この街に住む人々をひとくくりにしてあれこれと説明するのは難しい。出稼ぎや就学のために地方からやってきた人々が大多数を占めるハノイ。加えて近年は、旅行や仕事で訪れる外国人が年々増加し

ている。それぞれが持ち込んだ文化は、良くも悪くもこの街の人々に影響を与え、この諺にあるようなハノイ人の姿は、今や昔と嘆く人もいる。それでも、先祖代々この街で生きる人々の「生粋のハノイ人」としての誇りは変わらない。

4つの季節と美しい街並みをもたらす情緒の豊かさから日常の振る舞いに至るまで「他とは何かかも違う」と言い切る人々に、ハノイ人としての揺るぎない誇り高さを垣間見た。

ハノイ × 四季折々の風情。

ベトナム北部には四季がある。春の訪れを知らせる霧雨、太陽が容赦なく照りつける夏。束の間の心地よい秋風に、「骨まで染みる寒さ／Lạnh Thấu Xương」と表現される厳しい冬。思い出はいつも、肌で感じる季節の温度と変化する街並みの記憶とともにある。ハノイ人の情緒を育むのは、美しき4つの季節なのだ。

家族で迎える
新しい春

「旧正月が近づくと、家族総出でバインチュン（Bánh Chưng）作りをするの。炊事場に集まって夜通しおしゃべりをしながらの作業は、夜のピクニックみたいで本当に楽しかった。幼少時代のそわそわとしたあの感じ、今でもはっきりと覚えているわ」。

16～23歳までをロシアで過ごしたチー（Chi）さんは、こう振り返る。しとしととまとわり付くように降る小ぬか雨に包まれ、肌寒いハノイの新春。「それなのに不思議ね。家族とともに過ごした温かい思い出ばかりがよみがえって、この時期は故郷への想いがいつそう募ったものよ」。

夏の朝、
凜と咲く薄紅の花。

夜が明けたばかりの早朝に、人知れずそっとほころびはじめる蓮の花。5月下旬から9月上旬にかけての収穫時期には、夜明けとともに蓮摘みが始まり、蓮のあいだを竹の小舟が器用にすり抜けていく。蓮の花には白と薄紅色の2種類があるが、ベトナムの国花の有力候補としてあげられているのは、薄紅の蓮。気高さや純粋な美しさのシンボルとして、長年にわたりハノイの人々の生活に息づいている。

ハノイの秋を想う。

木々が紅葉し、心地よい風が頬をなでる秋。この歌を口ずさめば、4つの季節で最も美しいとされる秋の情景に想いが馳せる。

※1 ホアスア／Hoa Sứ

学名は、アルストニア・スコラリス（Alstonia scholaris）、和名は七葉樹（シチヨウジュ）。グエンズー（Nguyễn Du）通りに茂るホアスア並木が有名。夕方に花ひらき、夜にかけて甘い香りが漂う

※3 タイ湖／Hồ Tây



『ハノイの秋を想う／Nhớ Mùa Thu Hà Nội』

Hà Nội mùa thu, mùa thu Hà Nội / Mùa hoa sứ về thơm từng ngọn gió,
秋のハノイ / ハノイの秋 / 風に漂うホアスア(※1)の香り

Mùa cỏm xanh về, thơm bàn tay nhỏ / Cốm sữa via hè, thơm bước chân qua.
緑色したコム(※2)の季節。小さな手のひらから漂う香り / 路上にもほら。足元を駆けていく秋の香りが

Hồ Tây chiều thu, mặt nước vàng lay bờ xa mời gọi.

Màu sương thương nhớ, bầy sâm cầm nhỏ vỗ cánh mặt trời.

秋のタイ湖(※3)の午後。黄金色に揺れる水面が、おいでおいでと呼んでいる。懐かしい霧の色、雛鳥たちの水遊び

Hà Nội mùa thu đi giữa mọi người / Lòng như thăm hỏi, tôi đang nhớ ai

Sẽ có một ngày trời thu Hà Nội trả lời cho tôi / Sẽ có một ngày từng con đường nhỏ trả lời cho tôi

駆け巡るハノイの秋 / 私は誰を恋しいの？

いつの日か、ハノイの秋空が教えてくれる / いつの日か、細い路地が教えてくれる

作詞・作曲／チン・コン・ソン(Trịnh Công Sơn)

※2 コム／Cốm



緑色の米を炒った加工品で、ハノイ郊外のヴオン（Vòng）村やメーチー（Mễ Trì）村産が有名。秋はバナナや柿につけて食べるのが通

ハノイの冬は、あったかい。

冷えた両手を熱いコーヒーのカップで温める。セーターでからだを包み込む。暖かい家に帰ってほっと一息。凍える寒空の下には、小さなあわせがいっぱいある。もくもくと湯気が立ち上る屋台の食べ物だって、ハノイの冬には欠かせない。

冬の3大甘味

1 バインチョイタウ
Bánh Trôi Tàu2 ルックタウサー
Lụa Tàu Xá

1. 生姜シロップの中に、黒ゴマや緑豆餡の白玉入り 2. 緑豆のぜんざいに蓮の実が入ったチェー 3. 黒ゴマのぜんざい。あとを引かない甘さ

3 チーマーフー
Chè Mả Phù

①バインクック（Bánh Khúc）。もち米の中に、緑豆餡と豚肉を入れ、クック（Khúc）の葉で包んで蒸す ②チェーも冬仕様に早変わり ③焼き芋とどうもろこしの屋台

熱々さつまあげ

冬の代表料理として人気のゴカイのさつま揚げ「チャーズオイ／Chả Rươi」。見た目は裏腹に、香ばしくヘルシーな味わい





礼儀を重んじるハノイ人。「その人の振舞いを見れば、ハノイ人かそうでないかが分かる」とハノイ人は言う。食べ方や話し方など日常の様々な場面で心掛ける、彼らの「礼儀正しさ」とは何だろうか。

礼儀 人と人との繋がり

「あいさつは食事よりも重要だ／Lời chào cao hơn mâm cỗ.」とは、人と人との繋がり的重要性を表す言葉。ここでの「あいさつ」は、「こんにちは」のほか、「お元気ですか」や「どこに行くの」、「ご飯を食べましたか」なども含まれる。このような声掛けは、ハノイ人の礼儀であり、相手への気遣いを示す必要不可欠なもの。

礼儀 エレガントな振る舞い

食事のマナーは人となりを映す鏡。1度に口にする量や食べるスピード、タレの付け方など、食事のマナーに気を配るのがハノイ人だ。「1本のもやしも2つに分けて／Cái giá cần đôi.」という言葉が示すように、ガツガツとほお張らず、少量をゆっくりと分け合っ



礼儀 必要不可欠なモーイ

ベトナム南部にはない習慣の1つに、食事の目上の人に対するあいさつ「モーイ(Mời /どうぞ、招待する)」があげられる。子どもなら、「お父さん、お母さん、どうぞご飯をお召し上がり下さい／Con mời bố mẹ ăn cơm ạ.」が正しいあいさつで、「アン／Ăn(食べる)」の丁寧語「ソーイ／Xoi(召し上がる)」を使うと丁寧度が増す。このあいさつはハノイ人にとって重要な習慣で、「モーイされないなら食べない」という人もいるほど。南部に嫁いだ人が、あいさつをせずに皆が食べ始めたので戸惑ったという話も。

礼儀 省略せずに丁寧な文章で

会話で重要なのは、正しい文法に沿った十分な文章構成。例えば、「ベトナムに来て何年ですか?」という質問に、「3年」と短く省略して答えるのは失礼にあたる。「私は、ベトナムに来て3年です」と丁寧に発言することで礼儀正しい印象に。「ありがとう／Cảm ơn.」のひと言であっても、「私はあなたに感謝しています／Em cảm ơn cô ạ.*」と「誰」が「誰」に感謝しているのかを明確に示すことで、相手への思いやりが伝わる。話すスピードや声のボリュームなども含め、話し方から教養のあるなしを判断する人もいる。

※自分より目上の女性に使う場合



子どもが目上の人にあいさつをするときは、目上の人に敬意を払う意味で、胸の前で両手を組んで頭を下げる



「同じ盆の飯を食う／Ăn chung một Mâm」。ゴザを敷き、家族みんなで盆(マム／Mâm)を囲う食卓が伝統的なスタイル

私の場合は、おじいちゃん・おばあちゃん、お父さん・お母さん、

お姉ちゃんをモーイします



From. フンイエン(Hung Yên)省

ハノイ歴 11年

結婚してハノイへ来たばかりの頃は、隣人同士のドライな人間付き合いがさみしかったわ。私の田舎では、人と人との距離がもっと近いから。ハノイ人の特徴は、プライドが高いこと。もちろん人にもよるけれど、「自分は首都の人間だ」というかんじね。故郷を愛する気持ちは誰だって同じ。私もハノイ人と同じように自分の出身地が特別だと思っているもの。

進学や就労のために故郷を離れ、地方からやってきた人が多く集まるハノイ。生粋のハノイ人が他と一線を引くように、地方出身者の彼らもまた同じなのかもしれない。この街は、彼らの目にどう映っているのだろうか。



From. ナムディン(Nam Định)省

ハノイ歴 23年

25歳のとき、家族を養うために出稼ぎにきたんだ。自分の田舎は、農業しかなかったからね。若かったから、ハノイに来たときはすべてが新鮮で楽しかった。今ではすっかりハノイの街も変わって月日の流れを感じるよ。家族はナムディン省にいて、子どもが学校を出るまではこの街で頑張るつもりさ。

From. イエンバイ(Yên Bái)省

ハノイ歴 10ヶ月

田舎から出てきたばかりで、なかなか慣れません。人もバイクも多くて静かな場所がないので、落ち着かない…。私の田舎との大きな違いは、人間関係かな。田舎では周囲のことは何でも把握していますが、ハノイは隣人同士であっても一線を引く印象があります。ハノイの好きなところは、きれいな景色。特にホアンキエム湖が好きです。



From. ターイビン(Thái Bình)省

ハノイ歴 14年

ハノイはお金を稼ぐ場所。自分の故郷で十分な稼ぎが得られるなら、帰りたいよ!

From. タインホア(Thanh Hóa)省

ハノイ歴 20年

進学のためにハノイに来て20年が経ち、「第2の故郷」と呼べるようになりました。ハノイの人は他人の行いを注意深くチェックし、何か悪いことがあれば「あの人はハノイ人ではないから…」とよく言いますね。自分の故郷を良く思わないのは悲しいので、日頃から礼儀正しい振る舞いに気を付けています。ハノイ人は、親しくなるのに時間がかかるけれど慣れれば思いやりがある優しい人たちです。



旅のココロ得 ハノイ・トラベルインフォメーション

■春(2~4月頃)

旧正月中期間(2014年の元旦は、1月31日)は、ほとんどのレストランや公的機関がクローズするので、旅行向きではない。霧雨が続き肌寒い日もあるので羽織るものが必要。

■夏(5~8月頃)

5月頃から気温が急激に上がり、厳しい夏に突入。日本の梅雨に似たじめじめとした日が続く。大雨や台風が多く、場所によっては冠水し足止めにあうことも。

■秋(9~11月頃)

雨が少なく湿度が低いこの時期は、旅行のベストシーズン! ハノイの街並みが最も美しいとされる季節だ。

■冬(12~1月頃)

10度以下になることは珍しいが、湿度が高いハノイの冬は日本とは違った寒さ。5つ星クラス未満のホテルでは、シャワーのお湯が出ないこともある。タンク式なので、お湯を出せばなしにしない、複数数の場合は20~30分ほど時間を置いてシャワーを浴びる、などがコツ。

スケッチトラベルハノイアオザイ ツアーデスク/SKTECH TRAVEL HANOI AODAI TOUR DESK

各種ツアーの申し込みはこちらまで

〒p.40、110 6F、25 Truong Han Sieu St., Hoan Kiem Dist. ☎(04) 3944 9509 / 3944 9510(日本語) ☎(月~金曜)9:00~18:00、(土曜)9:00~12:00(休)日曜
www.sketch-travel.com/vietnam

※フライト情報の詳細はp.196を参照。